

## 会議録

会議の名称	平成22年度第1回 西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成22年6月30日（水曜日） 午後1時から2時40分まで
開催場所	保谷保健福祉総合センター6階 講座室2
出席者	玉置会長、内田副会長、石田委員、橋岡委員、志藤委員、石井委員、池田委員、大島委員、田中委員、清水委員
議題	(1) 平成21年度第4回協議会議事録の確認について (2) 西東京市健康都市宣言の実施について (3) 西東京市健康づくり推進プラン評価検討委員会について
会議資料の名称	資料1 西東京市健康づくり推進協議会 委員名簿 資料2 西東京市健康づくり推進協議会条例 資料3 西東京市健康づくり推進協議会規則 資料4 西東京市市民参加条例規則 資料5 西東京市健康づくり推進協議会傍聴要領 資料6 平成21年度西東京市健康づくり推進協議会第4回議事録（案） 資料7 西東京市健康都市宣言について（諮問） 資料8 西東京市健康都市宣言の実施について 資料9 西東京市健康づくり推進プラン評価検討委員会設置要綱（案） 資料10 平成22年度健康づくり推進協議会 スケジュール（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

1 開会

傍聴人なし

出席委員が過半数のため本協議会は成立

2 会長挨拶

3 諮問

坂口市長より玉置会長に西東京市健康都市宣言について諮問（資料7）

4 議事

(1) 平成21年度第4回協議会議事録の確認について（資料6）

訂正事項があれば次回までに事務局へ連絡

(2) 西東京市健康都市宣言の実施について（資料8）

質疑応答

○委員：

心身の健康、精神を考慮されたほうがよい。

○事務局：

メンタルの部分は4本目のゆとりのところに含んでいる。

○会長：

経済的、家庭環境、学校教育などいろいろなことがかかっているの、こころの部分は難しい。

○委員：

柱の1から4の要素はどこにでもある。他市よりも西東京市独自の健康づくりをやっているという捉え方はできないのだろうか。そのあたりをうまく出せるとよい。

○会長：

独自の施策、キャッチフレーズが出ていないのは確かである。

○事務局：

市の自慢できることを庁内検討委員会で調査を行った。施策的には平均点以上だが特にすぐれているところはない。宣言するキャッチフレーズを工夫したい。

○委員：

老人福祉がすぐれているとかなないのか。

○事務局：

認知症サポート日本一などは進んでいることがある。

○会長：

医療、介護で進んでいる部分もある。がん検診の受診率が高いことや先がけて実施している検診もあるが、宣言としてのアピール度は低い。

○事務局：

市民の関心は何かということをも市民意識調査できく。

○委員：

健康都市宣言は本来、必然的にわいてくるものである。先に健康都市宣言ありきなので大変である。市民の健康のために何かをやらなければいけない。行政側が何かをやりたいという施策を提案してもらえればよい。

○委員：

宣言をする中で市の特徴がでてくるのか。

○会長：

総論と計画で終わるならば何のためにやるのかわからない。独自性のものを入れなければアピール度が足りない。看板になるものを1~2つ、他市ではやれない部分の各論部分で入れて、煮詰めていく。

○委員：

策定意義のところ、市民の自発部分だけではなく、行政施策で何をやるのかを明らかにしたほうがよい。

○事務局：

宣言するだけではなく毎年評価をして検証する。市民の健康づくりの後押しする施策が必要である。今回は宣言で計画ではない。

○会長：

宣言を漠然と載せるのはいいが、計画の部分に各論が載せられるのか。各論の部分を他市との差別化、各論の見えた計画が出てこないと難しいので、今後考慮が必要である。市民アンケートでそこまで反映しているかわからない。各論部分を一覧にするなどをしたほうがよい。

○委員：

各課でたてている計画の中で市民意識調査をしている。持っているものを出し合って浮き彫りにする。

○委員：

健康づくりに関して、宣言することに無理がある。

○事務局：

10周年記念事業でリーフレットを作成する。

○会長：

各論を一覧にする。従来実施しているものだけでなく、10年後など先のことの施策も

つけてもらう。

○委員：

柱の4点全部を宣言する意味はない。

○事務局：

宣言文だけではありふれるので、何かできないかと検討している。食育事業やしゃきしゃき体操の新しいものを作成して行う。

○委員：

しゃきしゃき体操を普及するといっている割には、音源が借りられない。市民調査で街頭インタビューするということは、健康な人しか対象にしていない。

○事務局：

音源は貸し出しをしている。街頭インタビューもルピナスなど若い世代が集まっている場所等でも調査をする。

○会長：

庁内検討委員会で4つの柱の部分で他市よりも優れていることをリストにあげる。今後、宣言をうけて数年以内にやりますという宣言を行う。

○委員：

早稲田大学の支援を受けるならば、フレームワークをしてもらう。

○会長：

スポーツや食など、行政に対するニーズをどこまでくみ取るか。意識はあるけどできないような人に対する行政施策を考える。

○委員：

推進プランの中で決まるのか。

○事務局：

行政の計画に定めている枠をとっばらってやりたい。

○委員：

推進プラン評価は1年もないのに、それができるのか。

○事務局：

計画の中からインパクトのあるものを出す。

(3) 西東京市健康づくり推進プラン評価検討委員会について (資料9)

質疑応答

○会長：

評価を得た部分を宣言都市にいれてもよい。事務者レベルで議論を重ねる。

○委員：

推進プランの効果がなされていない。この評価検討委員会は推進プランの下地をつくる。

○委員：

統計的、公衆衛生的な部分は大丈夫なのか。

○事務局：

公衆衛生の視点は、石田先生、志藤先生。統計は国や都がとっているものを利用するため、保健所の専門家が入る。学識経験では、早稲田の吉村先生、食育推進計画の座長だった田畑先生にお願いしている。

○委員：

別の委員でもよいのではないか。

○会長：

実務的なことをやってもらうので、推進プランにかかわっていた人がよい。組織の設定で公募市民の立場も必要ではないか。

(4) その他

次回の議事は市民意識調査の結果、健康都市宣言の内容を審議する。

日程は9月を予定している。

議事録は事前に送付する。